

2024年11月29日

各 位

シリーズC資金調達を実施いたしました

この度当社は国内製薬会社を引受先とするシリーズC資金調達を実施し、累計調達額が850百万円となりましたので、お知らせいたします。なお、シリーズCは現在も進行中であり、完了時には累計調達額が10億円となる見込みです。

当社は角膜内皮の再生医療用細胞製品「AE101」（適応症：水疱性角膜症^(注1)）を開発しておりますが、今回の調達した資金を用いて、「AE101」の開発を更に進めていく方針です。「AE101」は、現在国内第Ⅱ相臨床試験を実施しており、治験期間の終了は2025年12月を予定しております。

水疱性角膜症は、治療ニーズの高い疾患であり、多くの患者様が新薬を待ち望んでいます。

当社は引き続き「AE-101」の開発に注力していく方針であり、早期事業化を目指してまいります。

以 上

用語解説

（注1）水疱性角膜症

角膜内皮細胞が障害を受け、角膜浮腫が起こり、角膜が白く濁って視力が著しく低下する病気。フックス角膜内皮ジストロフィ、白内障や緑内障等の眼科手術により角膜内皮細胞が減少することが原因にあげられます。治療法は角膜移植手術になります。